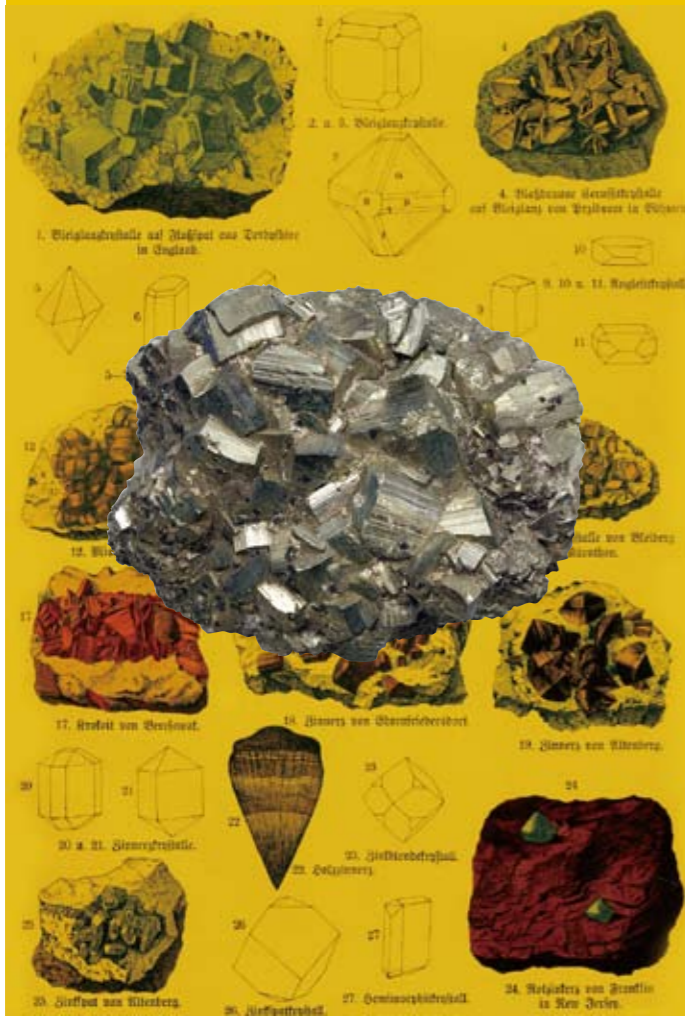


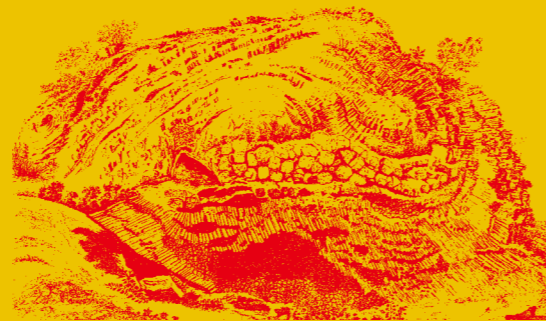
山口大学工学部 学術資料展示館

Museum for Ore mineral, Yamaguchi University

鉱石標本展示



www.msoc.eng.yamaguchi-u.ac.jp/



ようこそ学術資料展示館へ

故苗木浅彦名誉教授（山口大学・東北大学）が中心となって採取された鉱石約2万点が山口大学工学部に寄贈され、工学部創立70周年記念事業の一環として、2010年に学術資料展示館が建設されました。

学術資料展示館では、寄贈された鉱石2万点の一部をテーマ別に展示しています。また一部は工学部正面玄関および講義棟D棟の二階の踊り場に展示しています。

館内では、金属元素別鉱石、成因別鉱石に分類された標本を見ることができます。

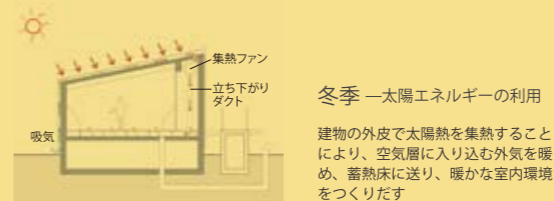
金属元素別鉱石は、貴金属の金・銀、非鉄金属の銅、鉛・亜鉛、鉄、レアメタルのマンガン、錫、アンチモン、ビスマス、モリブデン、タングステン、クロム、ニッケル、コバルト、水銀、砒素、硫黄、インジウム、リチウムなどに分類しています。

成因別鉱石は、マグマ鉱床、ペグマタイト鉱床、熱水性鉱床（スカルン鉱床、斑岩銅鉱床、鉱脈鉱床、海底噴気熱水鉱床）、堆積鉱床別などに分類しています。

また、展示館関係者が発見した新鉱物および日本新産鉱物など、非常に珍しい鉱物や山口県産の主な鉱石（銅、鉛、鉄、タングステン）もあわせてご覧ください。



パッシブエネルギーを利用した環境共生建築



建築設計は、本工学部感性デザイン工学科の内田文雄教授によるものです。冬場は、屋根や壁で太陽熱を集めて温かい空気を床から吹き出させ、夏場は、一年中温度が安定している地中を通したひんやりした空気を循環させ、自然エネルギーを活用した空調和により維持管理費の低減を図っています。

利用案内

開館時間

平日 9:00~17:30

土日祝 12:00~17:30

*不定期閉館/山口大学工学部図書館と同日

入場無料

ご利用上の注意

館内での飲食及び喫煙・撮影は禁止されています

展示品には触れないでください

交通案内



バス JR宇部新川駅前から約15分

琴芝経由又は参宮通り経由のひらき台行、交通局、萩原・開循環線「工学部前」下車徒歩3分

自動車 山陽自動車道「宇部IC」より約10分



山口大学工学部

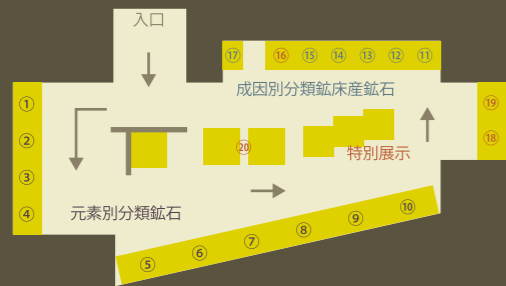
学術資料展示館

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1

TEL: 0836-85-9630

<http://www.msoc.eng.yamaguchi-u.ac.jp/>

館内案内



元素別分類鉱石

- ①②金銀鉱石、③金銀・銅鉱石、④⑤銅鉱石、⑥鉛・亜鉛鉱石、
- ⑦鉄・マンガン鉱石、⑧錫・アンチモン鉱石、⑨モリブデン・タングステン鉱石、
- ⑩クロム・ニッケル・コバルト・水銀・砒素・硫黄鉱石

成因別分類鉱床産鉱石

- ⑪マグマ鉱床産鉱石、⑫ベグマタイト・スカルン鉱床産鉱石、
- ⑬斑岩銅鉱床産鉱石、⑭鉱脈産鉱石、⑮海底噴気熱水鉱床・堆積産鉱石、
- ⑯二次富化鉱石

特別展示

- ⑰山口県産鉱石、⑱新鉱物・新産鉱物、⑲菅木先生調査用具、⑳特大鉱石



金属資源の有効利用について

地球の誕生以来、その地質現象の中で、膨大な時間をかけて蓄積・濃集されてきた金属資源を、人類は今日まで大量に消費し、巨大な文明社会を築き上げました。しかし、私たちは今、工業先進国の産業開発が引き起こした資源の大量消費・開発による資源の枯渇、環境汚染などの問題に直面しています。

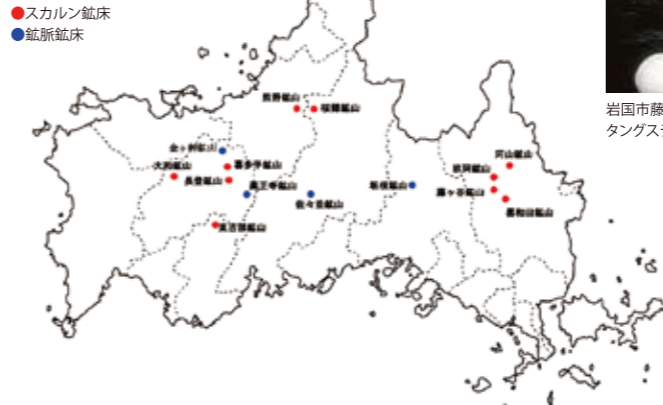
限られた金属資源と加速する消費の問題に対して、どのように対処していけばいいのでしょうか？ この問題が、わが国の産業の発展に非常に重要な問題となっています。その対処に対して、まず考えられることは節約、そして回収可能な資源を再利用することです。

日本に大量に蓄積された有用金属（金、銀、レアメタルなど）は膨大な量になっています（これは都市に集中するため都市鉱山とよばれています）。例えば日本の都市鉱山に存在する金の総量は6,800トン（世界の埋蔵量の約16%）、銀は60,000トン（世界の埋蔵量の22%）になります。同様にアンチモンは世界の19%、インジウムは16%、錫は11%、タンタルは10%と、日本の都市鉱山には全世界の埋蔵量の1割を超える金属が多数存在しています（原田幸明（独立行政法人物質・材料研究機構プレスリリース）（2008））。

携帯電話、パソコンや家電製品など大量に廃棄される製品に含まれる有用金属をリサイクルすることで、開発—消費—リサイクルの最適なバランスを実現して、持続可能な社会を築いていくことが求められています。

山口県産の鉱石

山口県には大小50位の金属鉱山が知られていますが、主に銅、鉛・亜鉛、タングステン鉱石を産出していました。これらの鉱山のほとんどはスカルン鉱床（銅、鉄、タングステン）、鉱脈鉱床（銅、鉛・亜鉛、アンチモン）です。



主な鉱床と鉱石

於福(大和)銅、喜多平(銅)、長登(銅)、東吉部(鉄)、熊野(銅、鉄)、桜郷(銅)、河山(銅、硫化鉄)、玖珂(タングステン)、藤ヶ谷(タングステン)、喜和田(タングステン)、金ヶ峰(銅、鉛・亜鉛)、桑王寺(銅、鉛・亜鉛)、佐々並(銅、鉛・亜鉛)、坂根(アンチモン)



岩国市藤ヶ谷鉱山のタングステン鉱石の産状



山口市桜郷鉱山産銀・銅鉱石



岩国市藤ヶ谷鉱山産タングステン鉱石



宇部市東吉部鉱山産鉄鉱石



宮城県大谷鉱山産自然金



埼玉県秩父鉱山産鬚状自然金



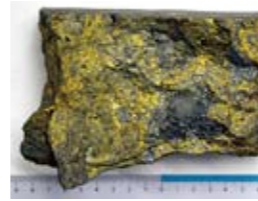
北海道光滝濃紅銀鉱



鹿児島県菱刈鉱山産高品位金銀鉱



秋田県宮田又鉱山産銅鉱石



北海道豊羽鉱山産高品位銅鉱石



ボリビア、ボトシ銀山の銀鉱脈



チリ、チュキカマタ鉱山の露天掘り(世界最大の銅鉱山)



チリ、エル・ラコ鉱山産鉄鉱石



宮城県細倉鉱山産鉛・亜鉛鉱石



岐阜県平瀬鉱山産モリブデン鉱石



秋田古遠部鉱山産鉛・亜鉛鉱石



福島県八基鉱山産タングステン鉱(A:通常光下、B:紫外線光下)

